

作成日 2026年1月9日
(最終更新日 2026年1月9日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：胆膵疾患に対する内視鏡的診断・治療（胆膵内視鏡処置）の実態、成績および安全性に関する単施設後方視的観察研究

1. 研究の対象

2013年1月から2031年1月までの期間に、当院で胆膵疾患に対して内視鏡的診断または治療（胆膵内視鏡処置）を受けられた方

2. 研究期間

病院長による研究実施許可日 ～ 2031年7月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2026年4月1日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

胆道や膵臓の病気に対する内視鏡的診断および治療（胆膵内視鏡処置）は、黄疸や腹痛、膵炎などの症状の改善や、病理診断の確定を目的として広く行われています。近年、内視鏡機器や治療デバイスの進歩により治療成績は向上していますが、対象となる病気の種類や病態、処置方法、使用する器具の違いによって、治療成績や安全性が異なる可能性があります。

本研究では、過去に当院で行われた胆膵内視鏡処置に関する診療情報を解析し、どのような患者さんや病態、処置方法が、より良い治療成績や安全性につながるのかを明らかにすることを目的としています。本研究で得られた知見は、将来の胆膵内視鏡診療の質の向上や、より適切な診断・治療戦略の構築に役立つことが期待されます。

5. 研究方法

本研究は、筑波大学附属病院において実施する単施設の観察研究です。通常の診療の中で得られた電子カルテの診療情報を用いて研究を行います。新たな検査や治療を追加で行うことはありません。収集した診療情報をもとに、臨床経過と照らし合わせながら、胆膵疾患に対して行われた内視鏡的診断および治療（胆膵内視鏡処置）の実態、処置成績および安全性について解析を行います。これにより、どのような病態や処置方法が、より良好な治療成績や安全性につながるのかを検討します。なお、データを収集・解析する際には、氏名や診療IDなどの個人を直接特定できる情報を削除し、個人が特定されないよう十分に配慮した上で行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報に関しては以下の項目を評価します。（1）年齢、（2）性別、（3）病名、（4）既往歴、（5）内服歴、（6）病歴、（7）臨床症状、（8）治療歴、（9）血液検査、（10）内視鏡・CT・MRIの画像データやレポート、（11）病理診断レポート、（12）手術レポートなど。

7. 外部への試料・情報の提供

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

外国にある者に対して情報や試料が提供されることはありません。

9. 研究組織

本学単独研究です。

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究の研究者等に、開示すべき利益相反はありません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

筑波大学附属病院 消化器内科 福田 壮馬
（住所）〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
（電話）029-853-3218（受付時間）平日 9時から 15時

当院の研究責任者：筑波大学附属病院 消化器内科 福田 壮馬